

地域を変える POWER!!

地域おこし協力隊 ユディカ エルギヤントさん



インドネシア飲食業チャレンジ

これまで開発していましたインドネシアの「サンバル」と言う調味料やインドネシアの発酵食品「テンペ」と言う食品が出来上がりました。

9月から鹿屋市の物産館「キタダサルugga」で、その調味料や食品、今年初収穫した米を使用し、チャレンジ事業としてランチを提供しています。お店の名前は「Sama Sama アジアンキッチン」です。



『Sama Sama』はインドネシア語のどういたしましてと言う意味です。週2～3回、インドネシア料理やタイ料理を提供しています。インドネシア料理は辛さが有名ですが、辛さの苦手な方にはお好みに合わせて調節しています。開発した「サンバル」は、インドネシアの有名な料理「ナシゴレン (Nasi Goreng)」というインドネシアのチャーハンやインドネシアのスープ、タイのカレースープなどが作れる大変便利な調味料です。サルuggaで販売もしています。

ランチメニューはナシゴレンやスープ (サラダご飯付)、インドネシアのデザートと店内飲食のお客様に限りレモンガラスのハーブティをお食事と共に楽しんで頂いています。

お客様の感想を聞きながら、初めての飲食業経営チャレンジをこれから頑張っていこうと思っています。

ランチは毎週木曜日の11時30分から13時30分までキタダサルugga・鹿屋において行っていますので是非お越しください。詳しい情報はインスタグラムでご参照ください。



消費生活相談

親しいつながりを利用したマルチ勧誘に注意

相談事例1

自分も参加している身体障がい者のグループの知人夫婦から久しぶりに会おうと喫茶店に呼び出された。来るとは知らなかった別の障がい者の知人から健康食品のマルチ取引を勧誘された。二人だけ紹介すればすぐにお金が入ると言う。「お金がない」と何度も断ったが、知人夫婦が支払いを立て替えてくれるというので、断り切れず自宅で契約した。返品解約したい。



●一言助言●

友人や知人を勧誘して買い手を増やしていくマルチ取引の勧誘が障がい者同士のつながりを利用して行われているケースがみられます。

「人を紹介すれば報酬が得られる」「月〇〇万円稼げる」などの説明をうのみにせず、事業者の実態やもうけ話の仕組み、解約方法をよく確認しましょう。

たとえ親しい人や仲間からの誘いであっても、**必要のない契約であれば「契約しない」ときっぱり断りましょう。**被害の早期発見や拡大防止のためにも、家族や周囲の人は変わった様子がないかなど日ごろから気を配りましょう。

■少しでも不安に感じたら、家族や周りの人と一緒にお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください

消費生活相談窓口(鹿屋市消費生活センター) ☎0994(31)1169 消費者ホットライン ☎188

